

25年度「草の根活動」促進委託事業一覧表

No.	団体名	活動の名称	活動内容	活動の効果及び成果	今後の課題
1	東中学校区心豊かな子どもを育てる会	立て看板増設・補修	・平成25年10月～11月 看板設置状況確認見回り補修 ・平成25年12月～平成26年1月 看板設置場所再検討 増設看板用標語検討決定 ・平成26年2月 看板発注 ・平成26年3月 看板設置	子どもたちからの積極的なあいさつが聞けるようになり、地域の子供たちとのコミュニケーションが広がりました。 地域の方々が看板の管理補修をして下さるなど、立て看板の活動を通して当会の活動の理解が深まり、多くの地域の方々の協力が得られる様になりました。	モラルやマナーを大切に、「あいさつ」「生活リズム」「人づくり地域づくり」をテーマに立て看板を設置しているこの活動は8年目となりました。継続は力なり…継続の成果は少しずつ出ています。 今後は、テーマの見直しと設置場所等の検討に地域の方々の意見と更なる協力を得るなど、この活動を通してよりよい地域活動が出来るようにしたいです。
2	西中学校区地域住民環境美化グループ	西中学校区地域住民環境美化活動	4月13日(土) 西中学校リーダー研修会で「地域住民環境美化活動」の取組を説明。生徒とともに環境美化活動を行う。 5月26日(日) 西中学校教育振興会とコラボ(協働)しての「環境美化活動」を行う 7月30日(水) 夏季休業、部活動ボランティア作業をコラボして校区内環境美化作業。女子テニス部、弓道部 10月14日(月)体育の日 西中学校後期リーダー研修会で、生徒執行部の皆さんと西中学校区内、袋川沿いの環境美化作業 日常の活動…西中正門前の植栽や池の掃除	・西中学校の生徒執行部の皆さんや部活動の皆さん、そして教育振興会の会員のPTAの方々との協働(コラボレーション)しながら、西中学校の敷地内及び西中学校区の様々な場所で環境美化活動を行うことができた。 ・西中学校の正門付近については、こまめな植栽を行った結果以前より美しくなった。	中学校の生徒さんだけではなく、小学生や地域の皆さんとも協力し合いながら、楽しく美化活動が継続できればと思っています。
3	桜ヶ丘中学校区PTA	桜ヶ丘中学校区のモラル・マナーの意識の啓発	・校区の小中学校の保護者・教員の挨拶運動(通年) ・中学校区の見守り巡回 ・桜ヶ丘中学校区PTA・桜ヶ丘グリーンゾーン合同研修会 期日 7月7日(日) 鳥取環境大学 内容 パネルディスカッション ・生活習慣定着に向けての児童アンケート(7・12月) ・桜ヶ丘中学校区学校保健委員会 期日 11月9日(土) 桜ヶ丘中学校 内容 校医の先生方の話 ・桜ヶ丘中学校区PTA・桜ヶ丘グリーンゾーン合同研修会 期日 12月14日(土) 桜ヶ丘中学校 内容 講演会 ・ケータイに関する調査	・トリニティープランと関連付けながら生活習慣の育成や子育てについて効果的に進めることができた。 ・あいさつ運動や巡回等を投資手児童生徒や校区の実態を把握し生活指導に役立てることができた。 ・家庭での教育力を高めることによって挨拶や学習時間・睡眠時間などの基本的な生活習慣を身に付けることができた。	・本年度の実績を踏まえ、保護者・地域との連携をしながら、さらに生活習慣の定着やモラル・マナーの向上に取り組んでいく必要がある。 ・ケータイ・スマートフォン等に関する研修や学習によって啓発をしていく必要がある。
4	鳥取市立高草中学校PTA	高草中学校親kボランティア活動	8月3日(土)に第2学年親子行事として、鳥取大学の見学後、親子で大学構内のゴミ拾い等のボランティア活動を実施した。 8月18日(日)に第3学年親子愛校作業として、親子で高草中学校校舎周辺の除草、剪定作業等のボランティア作業を実施した。 11月10日(日)に第1学年の親子会を実施し、前半のニュースポーツに続き、親子での校内の清掃奉仕作業を実施した。	それぞれの学年でできる清掃等のボランティア活動の内容を自主的に決めてもらい、生徒と保護者、学校教職員が協力して活動することにより、より連携と理解が深まった。 また、自分たちの学校や公共の場所をきれいにするにより、モラルやマナーの意識向上につながっている。	本事業は今年度で終了するが、ほかの事業も含めて総合的に再検討し、本事業で期待される成果を、今後の本校PTAと子どもたちで継続していくことが課題だと考える。
5	湖東中学校保護者と教職員の会	湖東中学校区キラッと大作戦	7・8月 24の部活動が地域の清掃活動をした 7・12月 福祉委員会で植えた花を4つの公民館にプレゼントした。	部活動で地域に出かけで清掃活動をする事によって、地域の一人としての自覚が持てたり、地域の人とのつながりができたりした。「今年も掃除頼むね。」「暑い中、ありがとう。」など、地域の人に声をかけてもらい、うれしく思っていたり、この活動を来年も続けていきたいと感じていたりする生徒が多い。また、部活動ごとにまとまって清掃活動が出来たという達成感や、地域に貢献しているという自覚ができた。そして、清掃活動を通して、環境問題についても意識している生徒もいた。 花のプレゼントは前・後期1回ずつ実施できた。公民館便りに活動が掲載されていた。「思いやりと自治」の子声緒が少しずつ育ってきていると思われる。	清掃活動は生徒の活動しやすい時期の夏休みみだけになる。湖東中学校区は広いが、清掃場所への移動が大変なことから清掃場所が中学校から移動しやすい場所になるため、活動範囲が限られる。
6	鳥取市立末恒小学校PTA	「わくわく交流ひろば」子ども見守り隊～あいさつをのびのびと、親子・地域との絆を深めよう～	○交通安全指導とあいさつ運動 ・毎月1日・15日交通安全運動期間中、PTA生活部が中心となって、全ての保護者が登校時の指導を行うとともに、あいさつなど声かけを行った。 ○「子ども見守り隊」の活動 PTA執行部が中心となって、下校時刻から児童の帰宅時刻(夏季18時、冬季17時)に校区内を巡回し、不審者対応と、遅くまで戸外で遊んでいる子どもに声かけをした。 ○わくわく交流ひろばの開催 PTA総務・学年部が中心となり、年6回開催した。(第1回6/26、第2回7/10、第3回9/11、第4回10/23、第5回11/13、第6回12/11)	○交通安全指導とあいさつ運動 ・毎月1日・15日交通安全運動期間中、PTA生活部が中心となって、全ての保護者が輪番で登校時の指導やあいさつなど声かけを行った。その結果交通安全ルールを守って安全に登校する姿が多くみられるようになった。また、全ての児童とはいえないが、保護者や地域の方に元気よくあいさつできる児童も増えてきた。地域の方から子どもが元気なあいさつをしてきて気持ちよかったとの声もいただいた。 ・PTAの活動にあわせて、地域の有志の方が毎朝JR踏切付近に立って児童が安全に踏切を渡るよう指導して頂き、安全の確保とともに地域の方を知るいい機会となった。 ○「子ども見守り隊」の活動 ・PTA執行部が中心となって、下校時刻から児童の帰宅時刻(夏季18時、冬季17時)に校区内を巡回したことにより不審者による被害はなかった。また、遅くまで戸外で遊んでいる子には早く帰宅するように声をかけ、ほとんどの児童が帰宅時刻までに帰宅していた。 ・地域の老人クラブの方々が、小学校の子どもたちのために何かできることはないかと、学校とPTAに相談に来られ、児童の下校時刻に合わせて、毎日見守り活動をしてくださった。子どもたちの安全な下校に大きく役立った。	・保護者、地域の方が学校と協力して地域の子どもを育てるという同じ視点で取り組むことで、子どもたちの心が安定し、人との関わりを大切にすることが高まったり、自分の考えをはっきり言うことができたりするようになる。そのために、現在の活動を継続して行うとともに、学校支援ボランティアの制度等を活用し、より多くの角度から子どもたちの成長を見守り、育てる活動を推進していく必要がある。

				<p>○わくわく交流ひろば」の開催 ・月に一度、地域の方と昔の遊びを通してふれ合うことで、子どもたちは地域の大人を知る良い機会となり、地域の方に見守られている意識が高まり、登下校中など、お世話になった方にあいさつする姿も見られた。また今年度は、6年生児童が受け付けや自分たちで考えたコーナーを運営し、地域の方やPTAと新たな関係をつくることができ、交流の幅が広がった。昔の遊びを知ることで、メディアやゲーム中心の生活とは違う、精神的に落ち着いた生活を送ることができる子どもが増えてきた。さらに、地域の方には、学校の活動や子どもの様子を見ていただくことで、地域の応援団として協力していただく体制ができてきた。</p>	
7	湖南学園PTA	地域と取り組むモラル・マナー向上運動	<p>1 PTA総務部が中心となり、本事業の計画・立案を行った。 2 全校児童生徒に呼びかけ、モラル・マナー向上のための標語を募集した。保護者代表として、PTA総務部員が交通安全に関する標語の作成をした。 3 児童生徒、PTA総務部員のそれぞれから優れた作品を選考し、表彰を行った。 4 最優秀賞の標語作品2点を懸垂幕として児童生徒玄関前に、校内掲示用として校舎内の壁面にそれぞれ設置した。また、その他の入賞作品は校内に掲示し、児童生徒、保護者、地域住民への啓発を行った。 5 自動生徒会執行部が毎朝の登校時にあいさつ運動を行った。</p>	<p>○児童生徒自身が標語作成にかかわったことで、モラル・マナー向上について考えるよい機会となった。 ○優秀作品を児童生徒玄関や校内に掲示することにより、日頃から児童生徒の目に触れ、モラルやマナー、ルールを大切にしようとする意識の醸成ができた。 ○地域・保護者のみでなく、来校者にも本校の取り組みを知ってもらうことができた。</p>	<p>○全保護者が関わり、地域に浸透する取り組みを考える。 ○マンネリ化しないように定期的に見直しをし、新しい試みを取り入れる。</p>
8	地域(みんなの)の楽校(がっこう)づくりの会	散岐小学校区ハートフル活動	<p>※時系列で記述 ①5～7月 「花いっぱい運動(人権の花づくり1)」 ②5月～ あいさつ運動 ◇第1回地域の楽校づくりの会作業(5/9) ・新役員、新メンバー等の確認 ・本年度の行事計画について ◇第2回地域の楽校づくりの会作業・協議(6/13) ・笹巻き準備(笹とりなど) ③6/15 地域の楽校づくりの会(笹巻きづくり) 参加児童47名 ④6/29 花の苗プレゼント1(地域のお年寄りへ) ◇第3回地域の楽校づくりの会協議(7/10) ・川遊び体験について ⑤8/18 地域の楽校づくりの会(川遊び体験) 参加児童29名 ⑥8/18 クリーン活動 ⑦10月上旬 「花いっぱい運動(人権の花作り2)」 ⑧10月中旬 花の苗プレゼント2(地域の公共施設へ) ◇第4回地域の楽校づくりの会協議(11/6) ・学習発表会への参加について ◇第5回地域の楽校づくりの会協議(11/27) ・おもしろ科学実験教室について ⑨12/7 地域の楽校づくりの会 参加児童37名(おもしろ実験教室)鳥大 丹松美由紀先生 ⑩12月上旬 「花いっぱい運動(人権の花作り3)」 ⑪12月～ あいさつバツ作成・児童配布 ◇第6回地域の楽校づくりの会(11/27) ・もちつき、すもう体験について ⑫2/1 地域の楽校づくりの会(餅つき、すもう) 参加児童34名 城北高校相撲部 ⑬2/4 昔の遊び体験交流(低学年・地域の方) ⑭2/19 生き方の講演会、相撲体験教室(全校児童) (城北高校相撲部員、石浦監督) ◇第7回地域の楽校づくりの会(3/29) ・本年度事業の反省</p>	<p>①「花いっぱい運動」や「地域の楽校づくりの会」は、地域の方とのコミュニケーションを図るよい機会になっている。花の苗プレゼントは地域のお年寄りの方が毎年楽しみにしている。地域の方の感想から、地域全体に動植物を大切にす心や児童への感謝の気持ち、期待が感じられた。 ②あいさつ運動を盛り上げるために標語を募集し、本年度は4年生の「あいさつで みんなの心 つなごうよ」が最優秀賞であった。あいさつ運動をひろげることで地域での人々のかかわりがしやすくなる。 ③地域公民館や「地域の楽校づくりの会」の事業を小学校と共催することで、子どもたちと地域の方との交流の輪が広がり、地域への愛着が深まっている。 ④学校からの呼びかけも増え、参加児童も増加傾向にあり、会の行事も盛り上がりを見せている</p>	<p>①あいさつ運動の取り組みを今後も継続させ、より地域の輪が広がるようにする。日常のあいさつをはじめて、モラルやルール、マナーを大切にする活動が地域全体に広がり、規範意識を高める。 ②「花いっぱい運動」の活動を今後も継続し、地域の方とのコミュニケーションを図るとともに環境美化の意識高揚を図る機会にしてい ③日頃から地域の方とコミュニケーションを図ってネットワークを強化し、組織的に地域全体で規範意識、連帯意識が高まる活動を推進する。 ④子どもたちと地域の方々との絆が深まり、地域で子どもを育てる意識をより高めるために、現在活動している行事をさらに工夫し、より豊かな共通体験ができるようにする。</p>
9	鳥取市立青谷小学校PTA	「生活みなおし隊」～家庭での生活習慣を見直し、子どもとふれあい、親子の絆を深めよう～	<p>・6月12日(水) 保護者講演会 「〇〇の「食」は子どもの教科書パート2」 学校栄養士 團野由恵氏 ・7月19日(金) PTA生活部主催「自転車教室」 ・12月4日(水) 保護者対象講演会 「子どもとともに子育て親育ち」 鳥取県家庭教育アドバイザー 山田節子さん ・1月11日(土)～20日(月) PTA生活部主催「生活みなおし隊」活動</p>	<p>・6月の保護者対象研修会では、昨年に引き続き「バランスのよい食事」についてお話を聞いた。保護者からの反響も大きく「季節感を意識して手作りに気をつけたい」などの感想もあった。 ・自転車教室は、PTA生活部が中心となって計画・運営を行った。地域の自転車店や浜村警察署の協力も得ながら、実地研修ができたのは大変良かった。 ・11月に優良PTA文部科学大臣表彰を受けた ・12月の保護者対象研修会は、PTA人事部が主催して行った。「生活リズムの見直し」「子どもの自己肯定感を高めるには」「子どもとともに子育て親育ち」というポイントでお話を聞いた。 ・4年目になった「生活みなおし隊」の活動は、定着してきた。本年は「チャレンジあおや」の時期と重ならないようことの配慮で、冬休み明けの1月に実施した。長期休業後だったが、各家庭で特色のある親子にふれあい活動が報告された。親子で一緒に取り組むことを目指していくことで、生活の落ち着きや、心の安定につながった。</p>	<p>・保護者研修会については、内容は大変良かった。開催時間が、学習参観後だったのでたくさんの方の参加を得た。 ・「生活みなおし隊」活動は、「チャレンジあおや」とより運動させていくことにより、さらなる効果が期待できる。</p>

10	千代南中学校区地域支援ネットワーク協議会	千代南中学校区地域支援ネットワーク協議会	<p>7月6日 第1回協議会 ・活動内容について</p> <p>8月22日 第2回協議会 ・分科会</p> <p>11月6日 第3回協議会 ・アンケートについて</p> <p>1月26日 第4回協議会 ・アンケート結果について</p> <p>1月30日 講演会 講師:中桐万里子 氏</p> <p>2月27日 第5回協議会 ・まとめ</p>	<p>・佐治、用瀬両地域が子どもたちを取り巻く課題を共有し、地域のかも生かしながら、校区の児童、生徒が一層モラルやマナーを大切にしていけるための土壌づくりの準備を整えることができた。</p> <p>・委員の方たちだけでなく、活動の趣旨について地域住民の方にお知らせすることができた。</p>	<p>・地域と保護者が同じ視点で子どもたちを育てていくためには、SNSに関する問題についての意見交換会等を行ったり、交流する機会を持たなければならない。</p> <p>・「駆け込み110番」について、教育委員会分室に設備をお願いする。</p>
11	特定非営利活動法人 鳥すぼnet	いじめ撲滅フォーラム	<p>鳥すぼnet(スポーツ総合サイト)を利用いじめ撲滅運動の広報活動。 広報チラシを県東部10,000人の生徒・児童に配布した。</p> <p>実施日・参加人数 1月25日 久松公民館 58人 2月8日 面影公民館 32人</p> <p>・テーマ 地域のみんなで子どもを見守ろう</p>	<p>スポーツを通じてマナー(ルール)の大切さいじめのない社会を作るを生徒・児童・保護者・指導者に理解していただいた</p>	<p>生徒・児童の参加がなかったので参加させたほうがよかった</p>